12／９（火）の発表

【道庁プレスリリース】

報道発表資料の配付日時　12 月 9 日（火）10 時 00 分

発表項目（行事名）	令和７年度（第 38 回）北海道赤レンガ建築賞の受賞作品の決定について		
記者レクチャーのお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	令和７年度（第 38 回）北海道赤レンガ建築賞及び同建築奨励賞の受賞作品を決定しましたので発表します。 １．受賞作品及び受賞者（応募作品数 20） 【北海道赤レンガ建築賞】 「小清水町防災拠点型複合施設 ワタシノ」（令和５年(2023 年)３月竣工） ○ 建築主　小清水町 ○ 設計者　（株）アトリエブンク他１者 ○ 施工者　北興・早水・斜里 JV 他２JV 【北海道赤レンガ建築奨励賞】 ア「東神楽町複合施設　はなのわ」（令和６年（2024 年）３月竣工） ○ 建築主　東神楽町 ○ 設計者　（株）藤本壮介建築設計事務所他２者 ○ 施工者　橋本川島・西山・大洋・高橋 JV イ「LUPICIA ニセコヴィレッジ 新本社棟」（令和５年（2023 年）２月竣工） ○ 建築主　（株）ルピシア トレーディング ○ 設計者　（有）ナスカ ○ 施工者　大成建設（株）札幌支店 ２．表彰式 （１）日時　令和８年（2026 年）１月 22 日（木）13 時 30 分から （２）場所　北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎）２階 A ホール ３．その他 赤レンガ建築賞は昭和６３年に始まり、道内に建設された、竣工後概ね４年以内の地域社会の発展に貢献する創造性豊かな建築物等を表彰している。		
参考	(配布資料) 別紙「令和７年度（第 38 回）北海道赤レンガ建築賞　審査結果」		

報道（取材）に当たってのお願い		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	(場所)

担当（連絡先）	建設部住宅局建築指導課　　（担当者：課長補佐　川辺　篤史） ＴＥＬ　ダイヤルイン　011-204-5577（内線：29-453）

令和７年度（第 38 回）北海道赤レンガ建築賞　審査結果

赤レンガ建築賞

小清水町防災拠点型複合庁舎　ワタシノ

所 在 地：斜里郡小清水町元町２丁目 213-4 ほか
主要用途：庁舎、自動車車庫、スポーツジム、ランドリー
構造及び階数：RC 造・地下１階地上２階建
建築面積：2783.03 ㎡　延べ面積：4213.41 ㎡
竣工年月日：令和５年（2023 年）３月 15 日
建　築　主　小清水町
設　計　者　㈱アトリエブンク、㈱山脇克彦建築構造設計
施　工　者　＜北興・早水・斜里特定建設工事共同企業体＞㈱北興、㈱早水組、斜里建設工業㈱
＜エスケー・富樫特定建設工事共同企業体＞エスケー電気㈱、富樫電機工業㈱
＜そうけん・東海林・長屋特定建設工事共同企業体＞㈱そうけん、㈱東海林設備工業、㈱長屋工業
表 彰 理 由　庁舎とカフェ・ジム・コインランドリーという賑わいを創出する施設が一つの空間にまとめられ、相互の運営管理など巧妙に計画されている。災害時には駐車場とドラッグストアも併せて避難所に活用できるフェーズフリーの実現に加え、町民にとってはいつでも集い、安らげる建築であり、道内庁舎の先導事例としてふさわしい。

（撮影：(c)Ikuya Sasaki）

令和７年度（第 38 回）北海道赤レンガ建築賞　審査結果

赤レンガ建築奨励賞

（１）東神楽町複合施設「はなのわ」

所 在 地：上川郡東神楽町南１条西１丁目３番２号　　主要用途：庁舎、診療所、集会所
構造及び階数：RC 造・３階建　　建築面積：6710.24 ㎡　延べ面積：9561.4 ㎡
竣工年月日：令和６年（2024 年）３月１日
建　築　主　東神楽町
設　計　者　㈱藤本壮介建築設計事務所、㈱ドーコン、㈱創明建築設計事務所
施　工　者　＜橋本川島・西山・大洋・高橋異業種特定建設工事共同企業体＞
㈱橋本川島コーポレーション、東成建設㈱、㈲長田組、山本建設㈱、
西山電設㈱、東神楽電気㈱、㈲山菱電気工業、大洋設備㈱、
北伸設備工業㈱、㈱柳沼、カサイ住宅設備、高橋建設㈱、小廣川建設㈱
表 彰 理 由　旧庁舎に文化ホール・診療所・バスセンター等を円形回廊で繋げ、新旧を感じさせない空間を創り上げている。円形回廊は、施設へのアクセス、施設内移動を容易にし、町民活動をより活性化させており、町民が集うガーデン、成長が待たれるアカエゾマツは新たなタウンスケープとして期待される。

（2）LUPICIA　ニセコヴィレッジ　新本社棟

所 在 地：虻田郡ニセコ町羊蹄４番１の内、７番の内　　主要用途：事務所
構造及び階数：木造・１階建　　建築面積：681.05 ㎡　延べ面積：625.65 ㎡
竣工年月日：令和５年（2023 年）２月９日
建　築　主　㈱ルピシア トレーディング
設　計　者　㈲ナスカ
施　工　者　大成建設㈱ 札幌支店
表 彰 理 由　ニセコヴィレッジという新たな地域を創出する中核施設で、敷地形状から導き出された円形平面は四季の変化を 360 度で眺望できる。CLT 版と集成材による構造は円形形状に調和し、アプローチとエントランスは風洞実験で雪庇ができないよう検証され、円の内側への屋根勾配により無落雪屋根とするなど、円を活かす優れたアイデアによって造られた施設である。

（撮影：淺川 敏）